

第 93 回メーデー岩手県中央集会あいさつ (2022. 5. 1)

第 93 回メーデー岩手県中央集会ご参加の皆さん、雨の中ご苦労様です。日本共産党を代表して心からの連帯のあいさつを行います。

今年のメーデーは、戦争か平和かの重大な情勢のもとでの集会となりました。今必要なことは、「ロシアは侵略をやめよ」「国連憲章を守れ」の一点で世界が声をあげ、団結することです。「国際世論の力で侵略を止め、侵略者に責任を取らせ、国連憲章に基づく平和の国際秩序を回復する」という決着をつけるために、最後まで力を尽くそうではありませんか。

国内では、ウクライナ危機に乗じて、「戦争する国づくり」への大合唱と暴走がおきています。日本の進路が根本から問われています。自民党は「敵基地攻撃能力の保有」を反撃能力に言葉だけ変えて進めようとしています。軍事費は GDP 比 2%、現在の 2 倍、12 兆円規模に、5 年以内に増額しようとしています。そのために憲法 9 条の改憲に執念を燃やしています。

安倍元首相と日本維新の会が「核共有」、アメリカの核兵器の日本への配備を主張していることは、被爆国日本にとって許されないことです。「軍事対軍事」「核兵器対核兵器」では軍拡と核兵器開発競争の悪循環にしかありません。憲法 9 条を生かした外交で、東アジアを平和と協力の地域にすることこそ必要ではないでしょうか。

皆さん。コロナ禍とウクライナ侵略、アベノミクスの破綻で、急激な物価の上昇を招いています。国民の暮らしを守るために緊急に必要なことは、消費税の 5%への減税です。国の責任で労働者の賃金を引き上げることです。この間、大企業が積み増した 130 兆円の内部留保に課税して、10 兆円の財源で中小企業を支援し、最低賃金を時給 1500 円以上に引き上げようではありませんか。

憲法 9 条を守り、平和と国民の暮らしを守るためには、「戦争する国づくり」へ暴走する岸田自公政権とその補完勢力に厳しい審判を下すことが必要です。日本の政治を変える道は、市民と野党の共闘しかありません。来るべき参院選で、かけがえのない市民と野党共闘の議席、木戸口英司さんの議席を必ず勝ち取りましょう。

日本共産党はぶれずに、誠実に市民と野党の共闘の前進のために頑張りぬき、躍進を勝ち取る決意を述べ、連帯のあいさつといたします。共に頑張りましょう。

第 93 回メーデー万歳。